

平素は格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。  
FMD News Vol.37をお届けいたします。

facebook



FMD  
OWNER'S CLUB



## 11月のTOPICS

### ■DES(薬物溶出ステント)を用いたPCI(経皮的冠動脈インターベンション)後の心血管イベントとFMDの関連について

今月のFMD Newsでは、DESを用いたPCI後の心血管イベントと内皮機能の関連について検証した報告をご紹介します

2008年8月～2014年2月までにPCIを施行し、その後FMDを測定した患者80名を対象に、PCI後21.4±15.9カ月間における心血管イベント（心臓死、非致死的心筋梗塞、脳卒中、冠動脈再建術および重症四肢虚血）とFMDの関連を分析した。

PCIにおいてDESは58名の患者で使用され、FMDの測定は、PCI後1週間以内で実施した。その結果、期間中における心血管イベントは34例で発生し、これらの患者のFMDは心血管イベントがなかった患者と比べ有意に低かった（ $3.4 \pm 1.2\%$  vs  $5.1 \pm 1.8\%$   $p < 0.01$ ）。

FMDの中央値(4.2%)により、患者を高FMD群（ $FMD \geq 4.2\%$ 、 $n = 40$ ）と低FMD群（ $FMD < 4.2\%$ 、 $n = 40$ ）の2群に分けて期間中の心血管イベントとの関連を分析したところ、すべての心血管イベントの発生率は、高FMD群と比べ低FMD群で有意に高かった（ $p < 0.01$ ）。また、冠動脈再建術の発生率では、高FMD群よりも低FMD群で有意に高かった（ $p = 0.02$ ）が、ステント内再狭窄の発生率は両群間で有意な関連は認められなかった。

多変量Cox回帰分析では、低FMDが心血管イベントの独立した予測因子であった（HR：2.77 95% CI：1.23～6.19  $p = 0.01$ ）。

この研究では、内皮機能障害がDESを用いたPCI後の心血管イベントの独立した予測因子であり、FMDによる内皮機能の早期評価は、二次イベントリスクの層別化のためには有用なスクリーニングツールとなりえる可能性があるとしています。

引用元：BMC Cardiovasc Disord. 2015 Sep 23;15:102.